

受益者の皆様へ

2020年4月2日

**弊社ファンドの基準価額の下落について（4月2日）**

下記公募ファンドの4月2日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

**【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】**

ファンド名	4月1日	4月2日	前営業日比	騰落率
世界シェールガス株ファンド	5,173円	4,910円	▲263円	▲5.1%
世界ツーリズム株式ファンド	5,402円	4,997円	▲405円	▲7.5%

**【為替】**

為替レート	4月1日	4月2日	前営業日比	騰落率
米ドル/円	107.59	107.50	▲0.09	▲0.1%
カナダドル/円	76.44	75.74	▲0.7	▲0.9%
ユーロ/円	118.69	117.63	▲1.06	▲0.9%

\* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

**【株価】**

株式指数	3月31日	4月1日	前営業日比	騰落率
S&P500 エネルギー株指数	223.40	213.04	▲10.36	▲4.6%
モーニングスター・グローバル・マーケット	1,915.45	1,843.76	▲71.69	▲3.7%

**基準価額下落の背景と今後の見通し**

イングランド銀行（英国の中央銀行）は、新型コロナウイルス感染に対する景気対応策として、市中銀行に対し資金繰りに窮している企業の支援要請を行っていましたが、これに応じて英国の大手銀行が、株主に対する配当を見合わせることを発表しました。これを嫌気して銀行株が下落したことから、市場心理が悪化し、欧州各国の市場で下げ幅が拡大しました。米国株式市場においても、トランプ米大統領が米国にとって今後2週間は「非常に厳しい」ものになると警告するなど、事態の更なる悪化を警戒する見方が広がったのに加え、米サプライマネジメント協会（ISM）が発表した3月の米製造業景況感指数が49.1と、好不況の判断の境目となる50を3カ月ぶりに割り込んだことも弱材料となり、大幅安となりました。また、シェールオイル生産を手掛けるホワイティング・ペトロリアム社による米連邦破産法第11条の適用申請も嫌気され、S&P500 エネルギー株指数は大きく下落しました。

新型コロナウイルスの米国内での感染拡大に加えて、原油先物価格が不安定な値動きを続けていることも投資家心理に悪影響を及ぼしているため、株式市場はしばらくの間、値動きの荒い展開が続くと予想しています。各国政府及び中央銀行が講ずる経済対策とそれに対する市場の反応を引き続き注視してまいります。

## &lt;投資信託に関するご注意&gt;

## ■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## ■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0.3%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.606%（税抜き 1.46%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## &lt;当資料に関するご注意&gt;

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会